

今号の主な記事

- ◇所得税・市県民税の申告 ……2面
- ◇にしきた公園がリニューアル ……3面
- ◇4月からにしのみやしファミリーサポートセンターで病児預かりが始まる…4面
- ◇公民館特集 ……6・7面



活発に意見交換が行われた河野市長との座談会。今後の市政に生かします

まち夢トークがスタート

市は、市民による参画と協働のまちづくりを進めるために、河野市長や職員が地域に出向き、多様な形で市民の皆さんとの意見交換を行っています。直接対話をする中でさまざまなことが見え、大変有意義な時間となっています。誰もが心豊かに安心して暮らせるまちの実現に向けて、今後も市民の皆さんの声を反映したまちづくりに取り組みしていきます。

問合せは市民相談課(0798-353102)へ。

市長と語る 西宮の未来

皆さんの声を 明日の市政へ

市は昨年度まで、市長が市民の皆さんと直接対話をする「まちかどトークにしのみや」を実施し、さまざまな提案や意見などを頂いていました。

今年度からは、この取り組みをさらに発展させた「市長とまちづくり夢トーク」あなたの意見をあしたの市政へ(愛称:まち夢トーク)を行っています。

まち夢トークは、まずテーマを決めて、そのテーマに沿った活動をしている団体を選びます。そして、市長自らその団体の活動に参加し、座談会を行います(左図参照)。

「まちかどトークにしのみや」の違いは、①対話するテーマを絞ったこと、②市長自らが団体の活動に参加することです。相手団体の立場をより理解することができ、座談会では活発な意見交換が期待できます。

昨年11月の第1回「まち夢トーク」では、「子育てと自然と子どもたちのつながり」をテーマに、みやっこキッズパークの管理・運営をボランティアで行っている「みやっこキッズパーク事業推進委員会」と行いました。

今後のテーマは 都市型観光など

第2回は「都市型観光について」をテーマに、西宮の魅力を見直そうと活動しているグループ「西宮賑わい創造隊」と2月14日に行います。また第3回は、大学間、地域と大学との連携に取り組んでいる「大学連携学生プロジェクトチーム」の皆さんのもとに3月に訪れる予定です。

市長からのメッセージ

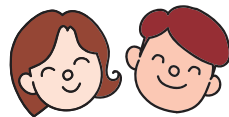
みやっこキッズパークで開催した第1回「まち夢トーク」では、朝から運営委員や保護者の皆さんによる手作りの「キッズパークまつり」に参加し、子どもたちと餅つきや舞台鑑賞をしました。

対話を通して 安心して暮らせるまちに

また、その後の座談会では、キッズパークの現状や課題、方向性などについて貴重な意見を頂き、情報を共有することができました。

キッズパークはオープン時と比べ、ボランティアをはじめ関係者の努力により創意工夫された良い施設になっていきます。都会における身近な自然や熱心なボランティアの実現に取り組みます。

今後この「まち夢トーク」を積極的に実施し、市政のさまざまな課題について多くの市民の皆さんと対話を行い、誰もが安心して暮らせる「わがまち西宮」の実現に取り組みます。



市職員も地域で対話

市長が地域に出向く「まち夢トーク」のほか、市職員も地域に出向いて、市政や地域課題について話し合っています。

西宮タウンミーティング

「西宮タウンミーティング」は、市の局長級職員が地域に出向いて、市の現状や今後の取り組みなどを説明します。また、地域課題の解決に向けて、市民の皆さんと意見交換を行います。

昨年10・11月には、市内各所で「多世代のコミュニティ活動への参加促進」に共に取り組む取り組み「まちかどレクにしのみや」で、ぜひ活用ください。

講座メニューや申込方法などを詳しくは、市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「市政情報」の中の「広報・広聴」の「広聴事業」をご覧ください。問合せは市民相談課へ。

問合せは参画・協働推進グループ(0798-353764)へ。

●まち夢トークの流れ●

- ①テーマ設定
- ②テーマに沿った団体選び
- ③市長がその団体の活動に参加



座談会の前に行われたキッズパークまつりで、市長は子どもたちと餅つきをしました

- ④市長と座談会

「まちかどレクにしのみや」は、市民の皆さんが知りたい・聞きたい市政情報や暮らしの身近な問題について、市の職員が講師として地域に出向いて説明します。10人以上の団体・グループ(在勤・在学者可)で利用できます。

まちかどレク

「まちかどレクにしのみや」は、市民の皆さんが知りたい・聞きたい市政情報や暮らしの身近な問題について、市の職員が講師として地域に出向いて説明します。10人以上の団体・グループ(在勤・在学者可)で利用できます。